

「当院研修医のバーンアウトへの COVID-19 流行が与えた影響についての研究」 研究実施のお知らせ

1. 研究対象

2017年から2018年、2021年から2022年のいずれかの間に山梨大学医学部附属病院で少なくとも1年間初期研修を行った研修医を対象としています。

2. 研究の目的

COVID-19のパンデミック前とパンデミック中の同じメンタルヘルス評価に対する回答を比較することで、研修医のバーンアウトに対するCOVID-19パンデミックの影響を分析することです。

3. 研究の方法

当院での初期研修中に通常業務の一環として定期的に記入した抑うつや職業性ストレス、不眠などに関するアンケートを個人情報、対象年を秘匿した上で、その内容をEXCELを用いてデータ化し、統計ソフトを用いて解析を行います。

4. 研究期間

研究機関の長の許可日 ～ 2026年3月31日

利用開始予定日 2025年3月

5. 研究に用いる試料・情報の項目

情報：初期研修中に自己記入した職業性ストレス簡易調査票(BJSQ)、Center for epidemiologic studies depression scale(CES-D)、アテネ不眠尺度の内容です。

6. 外部への試料・情報の提供

該当ありません。

7. 研究組織（試料・情報を利用する者の範囲）

当研究は以下の責任者のもとで業務の範囲内で既存情報の提供を受け、実施します。情報の利用者は精神神経医学講座の研究者のみで行います。

【研究責任者】

山梨大学医学部精神神経医学講座 助教 渡邊慎太郎

8. 試料・情報の管理について責任を有する者

国立大学法人山梨大学

9. 個人情報の取扱い

収集したデータは匿名化し、統計的処理を行います。国が定めた倫理指針（「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

10. 利益相反（企業との利害関係）

本研究に関しての研究費及び利益相反はありません。

11. 問い合わせ

当研究への協力は、研修医自身の自由意思に基づくものであり、当研究への情報提供を希望しない場合、その情報は利用しません。但し、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合は、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望しない場合、あるいは不明な点や懸念することがある場合、下記連絡先に、メール又はFAXで問い合わせることができます。

また、希望により、研究参加者の個人情報および知的財産の保護や、当研究の独創性の確保に支障がない範囲で、当研究の計画書や研究方法に関する資料を閲覧することや文書で配布することが可能です。希望する場合は、以下までメール又はFAXにて問い合わせることができます。

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

研究責任者 山梨大学医学部精神医学講座 医員 渡邊慎太郎

〒409-3898 山梨県中央市下河東 1110

山梨大学医学部 精神神経医学講座

Fax : 055-273-6765

Mail : shwatanabe@yamanashi.ac.jp